

成績評価における客観的な指標の算出方法

履修科目の成績評価は定期試験と平常点（授業態度、出席率、提出物の有無、小テストの得点）が基となっている。この評点は定期試験の得点と平常点（授業態度、出席率、提出物の有無、小テストの得点）の合算であり、定期試験を10割とし、平常点を定期試験の1割を上限として加点・減点している（ただし、平常点は各科第1、第2学年のみ）。その得点を以って90点以上を優、76～89点を良、60～75点を可、59点以下を不可と評価している。

これらの評点を科・学年・クラスごとにまとめ一覧表化すると共に、個々人の全科目の合計点の平均を導き出し、成績分布として50点以下および10点ごとの指標の数値に応じた該当者数と下位1/4に該当する人数、指標の数値を算出する。